

県内臨床心理士

下記が各直営病院以外の講師が実施している講演テーマ・参加体験型一覧になります。その他、希望に応じて、講演内容の相談ができる場合もありますので、派遣依頼書に具体的な内容をご記入ください。

No	講師名	職名	オンライン講演実施の可否	講演テーマ	講演概要
1	高木 ひろみ	臨床心理士	○	教職員の心の健康づくり 「相談しやすい職場づくりを目指して」	メンタル不調者を出さない予防策の基本について、相談しやすい職場を目指し、ロールプレイを用いたり、グループワークを取り入れ説明します。
				教職員の心の健康づくり 「セルフケアを中心に」	教職員のメンタルヘルスや学校におけるストレスについて説明します。その上で、自分でできるストレス対処(セルフケア)を紹介し、リラクゼーション等の体験も取り入れます。
				教職員の心の健康づくり 「ストレスマネジメントについて」	働く人や教職員のストレスとメンタルヘルスの現状を説明します。ストレスマネジメントの4段階について説明し、自分のストレス対処法について考えていけるよう一緒に検討していきます。
				教職員のメンタルヘルス 「保健室編」	養護教諭を対象として、メンタルヘルス上での保健室の役割や養護教諭のストレスについて説明します。その上でセルフケアのための対処法をワークを通して体験できるようにします。
				管理職者によるメンタルヘルス対策 「ラインケア～管理職ができること～」	教職員のメンタルヘルスの現状とラインケアを説明します。予防的な取組、復職支援について事例を通して説明します。
2	原田 則代	臨床心理士	○	教職員のメンタルヘルス	ストレスに関し、正しく理解し、KJ法によるグループワークを通して、共通のストレス・個別のストレス等への気づき、ストレス対処の多様性等への気づきを深める。
				教職員のメンタルヘルス —発達特性理解—	教職員のメンタルヘルスに大きく関係している1つの要因として配慮を要する児童・生徒の存在がある。その背景とされる発達特性に関して具体的事例もとりあげながら概説する。
3	江崎 百美子	臨床心理士	○	依頼に応じて柔軟に対応可能 (要事前打ち合わせ)	①ロールプレイによる傾聴法 ②ケース事例を用いたワークショップ ③リラクゼーション法、ストレス解消法 ④心理リハビリテーション(動作法)
4	平松 孝志	臨床心理士	○	メンタルヘルス研修	セルフケア、ストレスマネジメントについて ワーク:自分のストレスコーピングを振り返る
				メンタルヘルス研修	ラインケア、管理職の支援・介入方法について ワーク:リスニング
				アンガーマネジメント	怒りのコントロール方法について
				アサーション	効果的な自己主張スキルについて ※アサーションとは、他者と対等な立場でコミュニケーションを行う方法で、自己表現を通じて自分と相手の両方を尊重することをいう。
				レジリエンス育成	レジリエンスに気付く・育てる ※レジリエンスとは、「回復力」「弾性」を意味し、困難や逆境にぶつかっても乗り越えられる力で、現代社会において重要視されている。

※変更があった場合は、熊本支部ホームページでお知らせします。